

シロンスク舞踊団

コンサート & ワークショップのご案内

ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」 35 名が再来日！
 春の京都でポーランドの踊りを一緒に楽しみませんか！

第一部 ポーランドダンスのコンサート(舞台公演)

- ・日 時:2025年3月15日(土)
 開場: 9:30、 開演:10:00~11:30
- ・場 所:京都市東部文化会館 ホール 定員 500 名<全席自由>
- ・参加費:¥0 =**無 料!**(当日申込可)
- ・内 容:ポーランドの現代舞踊と伝統舞踊 (裏面参照)



第二部 ポーランドダンスのワークショップ(講習会)

- ・日 時:2025年3月15日(土) 13:00~16:00
- ・場 所:京都市東部文化会館 創造活動室
- ・参加費:一般:¥4,000、協会会員:¥3,000、学生:¥2,000
- ・内 容:シロンスク舞踊団 講師によるダンスの講習
- ・申込方法:下記の申込書の内容を E-mail にて、カップルで申し込みください。
- ・振込先:ゆうちょ銀行 店名 四五八 店番 458 普通 0499252 義田美根子(ヨシダミネコ)
- ・問合せ、申込先:事務局 今井まで TEL: 090-5365-7616
- ・申込締切:3月9日(日) E-mail: h_imai_fd@zb3.so-net.ne.jp



この収益金は、ポーランドに避難しているウクライナの人々へ寄付されます！



≪同時開催≫ 森内都 フォークロアな切り絵 作品展示会

- ・期間: 2025/3/5~3/30 ・会場: 東部文化会館・ギャラリー
- ポーランドなど、世界の民族衣装をテーマに、和紙を使った切り絵を展示・紹介!!

【主 催】日本・ポーランド民族舞踊友好協会、関西ポーランドダンス愛好会「クラコ」

【後 援】京都市、ポーランド広報文化センター、日本フォークダンス連盟、京都府フォークダンス連盟

2025 ポーランド国立舞踊団「シロンスク」 ワークショップ 参加申込書

氏名①		氏名②	
	様		様
代表者 連絡先	メールアドレス:		
	又は携帯Tel:		
氏名①	一般: ¥4,000 ・ 協会会員: ¥3,000 ・ 学生: ¥2,000		合 計
氏名②	一般: ¥4,000 ・ 協会会員: ¥3,000 ・ 学生: ¥2,000		¥

ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」 第一部 ダンスコンサートのご紹介



『Folk Heritage』（民族遺産）のテーマは、ポーランド音楽の歴史における民俗文化のインスピレーションを紹介することです。フリデリック・ショパン、ヴォイチェフ・キラル、スタニスワフ・ハディナといったポーランドの優れた作曲家の作品を例に、ダンスや歌を通して、ロマン主義から現代までのさまざまな音楽ジャンルの進化を示します。

音楽、ダンス、歌の集大成として、シロンスク歌舞団のアーティストによる舞台化作品として、フリデリック・ショパンのワルツ第 19 番イ短調、夜想曲第 20 番嬰八短調、スタニスワフ・ハディナの最も有名な作品「シュラ・ジェヴェツカ」と「カロリンカ」、ヴォイチェフ・キラルのピアノと管弦楽のための協奏曲からの「ジヴィエツ組曲」、「ポロネーズ」と「プレリュード」などが登場します。このコンサートで披露される振付は、エルヴィラ・カミンスカ、ユライ・クバンカ、ハンナ・ホイナツカ、ミハウ・ズブコフの作品です。

【振付、舞台監督】

エルヴィラ・カミンスカ

振付家、教師。1953 年 1 月、彼女はスタニスワフ・ハディナと協力し始め、「シロンスク舞踊団」の創設に参加。彼女が作曲した舞踊は、このジャンルとその古典の一種のモデルになっており、作品コレクションには、「ホゾニ」、「トロヤック」、「コウォマイキ」、「フストコヴィ」、「クヤヴィアク」、「オベレック」、「ポドハレ地方の踊り」、「クラコヴィアク」などがあります。その作品は現在の「シロンスク舞踊団」のレパートリーに多く残っており、ポーランドのレイジョナルダンスとナショナルダンスが舞台化されたコンサートのモデルになっています。彼女は、その仕事に対して多くの国内および国際的な賞を受賞しています。1983 年に亡くなる。



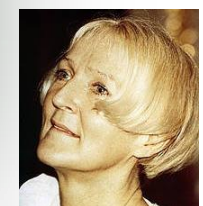
ユライ・クバンカ

振付家。「シロンスク舞踊団」の親友のスロバキア舞踊団 SLUK の創造者、数百のダンスアレンジの作者。2008 年、彼は舞踊団と共に、ゴラン・フレゴヴィッチの音楽に新たな振り付ける。2007 年 6 月、シロンスク地方の豊かな遺産から作品のインスピレーションを得た芸術家や科学者のグループの優れた人物や権威者に「シロンスク」から授与される「アニメス・シレジア」賞を受賞しました。2021 年、文化分野での功績を讃え、ポーランド共和国のアンジェイ・ドゥダ大統領から金十字章を授与される。



ハンナ・ホイナツカ

振付師、演出家、教師。ワルシャワのバレエ専門高校とフレデリック・ショパン音楽アカデミーのバレエ教育学部を卒業。彼女の振付作品には、ヤン・フォテックによる子供向けパフォーマンス「森の王女」、ワルシャワ大劇場の室内舞台で長年上演されてきた彼女のオリジナル公演「夜の風景」、エドワード・グリーグによるペール・ギュントなどがあります。1990 年には「シロンスク舞踊団」と協力し、スタニスワフ・ハディナの編曲による曲「プシェビウレツカ・鶉の子」を制作。2000 年には、映画「バン・タデウシュ」のヴォイチェフ・キラルによる「ポロネーズ」を振り付け、永久に「シロンスク」舞踊団のレパートリーとなった「グウシンスケ・クヤヴィアキ」の振付も制作しました。



ミハウ・ズブコフ

1980 年にペルミ（ロシア）のバレエ学校を卒業後、ニジニ・ノヴゴロド（ロシア）のオペラ・バレエ劇場でダンサーとしてスタート。22 年間の舞台練習中に、彼は古典的なレパートリー（「白鳥の湖」、「眠れる森の美女」、「くるみ割り人形」、「ジゼル」、「ライモンダ」、「ドン・キホーテ」など）のバレエや現代アーティストのパフォーマンスを踊りました。2001 年、「シロンスク」（ポーランド）アンサンブルの経営陣からの招待で、バレエ教師兼振付師に就任しました。2009 年にワルシャワのフリデリック・ショパン音楽大学（ダンス）修士課程を修了、2013 年に同大学ダンス理論の大学院を修了。現在、彼はシロンスク舞踊団のバレエ監督兼振付師を務めています。



..... 切り取り

* 第一部ダンスコンサートに参加の方は、連絡先をご記入の上、当日受付まで、ご持参ください。

お名前	電話番号またはメールアドレス